

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成24年7月12日(2012.7.12)

【公開番号】特開2010-23825(P2010-23825A)

【公開日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-005

【出願番号】特願2009-124109(P2009-124109)

【国際特許分類】

B 6 4 C 29/00 (2006.01)

B 6 4 C 39/02 (2006.01)

B 6 4 D 47/00 (2006.01)

【F I】

B 6 4 C 29/00 A

B 6 4 C 39/02

B 6 4 D 47/00

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月22日(2012.5.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内側ダクト壁および外側ダクト壁を備える少なくとも1つのダクトであって、

前記外側ダクトが、湾曲した輪郭を有し、

前記外側ダクトが、前記内側ダクト壁と接触して、前記内側ダクト壁と前記外側ダクト壁との間に領域を形成し、

前記領域が少なくとも部分的に閉じ込められ、熱発生機器を収容する、

前記少なくとも1つのダクトと、

少なくとも1つのファン軸と、

空気流が前記ダクト内壁と実質的に平行な方向に流れる複数のファンブレードと、

前記ファン軸に対して固定される前記少なくとも1つのダクトを保持する複数のステータと、

前記少なくとも1つのファン軸の周りに前記複数のファンブレードを回転させるファンモータと、

前記複数のファンブレードからの前記空気流を利用して前記熱発生機器を冷却する前記内側ダクト壁のところの冷却機構と、

を備える、無人航空機(UAV)。

【請求項2】

請求項1に記載の無人航空機において、

前記内側ダクト壁に通気開口をさらに備え、

前記空気流が前記通気開口を通して前記少なくとも部分的に閉じ込められた領域に入る、無人航空機。

【請求項3】

請求項2に記載の無人航空機において、

前記内側ダクト壁に排気ファンをさらに備え、

前記排気ファンが、前記少なくとも部分的に閉じ込められた領域から空気を排気する、無

人航空機。